

防衛北海道

Bouei Hokkaido
October 2012
Hokkaido
Defense Bureau
Ministry of Defense



Vol.24



Photo: 美幌駐屯地創立記念市中パレード
(美幌町提供)

編集・発行 **防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会**
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
Tel.011-272-7579
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

北海道防衛局 新幹部紹介

島川新局長 着任挨拶

北海道防衛局長を拝命した島川です。本省の勤務を経て、本年8月1日付けで北海道にまいりました。

北海道では平成6年に建築課長として、平成14年には建設部長として勤務いたしました。この度北海道の地において三度目の勤務ができますことを大変うれしく思っております。よろしくお願いいたします。

北海道には、我が国最大の演習場である矢臼別演習場を始めとして、我が国の防衛と日米安全保障体制を支えるための重要な防衛施設が数多く所在しております。

北海道防衛局は、防衛力発揮のための基盤であるこれらの防衛施設の円滑かつ効果的な運用、安定的使用を確保するため、関係地方公共団体との緊密な協力の下、当該施設の周辺地域とのより一層の調和を図ることに取り組んでまいりました。

また、常日頃から自衛隊の活動を念頭に置き、側面からその活動を支援するとともに、その状況を広く北海道の皆様方に理解していただくことも我々の使命の一つであると考えます。

国の防衛は、国家の最も基本的な施策であるとともに、国民一人ひとりによって支えられているものであり、自衛隊の活動も国民や社会の支援なくしては成り立ちません。

私も、この認識の下、地域の皆様方の理解を得つつ、その期待と信頼に応え得るよう、職員と共に力を尽くしていく所存ですので、引き続き皆様方の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



新任の次長、管理部長を御紹介します



次長 蓑浦 正彦

8月13日付けの異動で北海道防衛局次長を拝命しました蓑浦です。防衛施設庁に採用になって35年になりますが、北海道勤務は初めてです。

微力ではありますが、これまでの勤務の中で培ってきた知識・経験を生かし、北海道における防衛行政の拠点として防衛省・自衛隊と地域の皆様とをつなぐという我が国防衛にとって重要な役割を全うしたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。



管理部長 麻山 俊哉

8月1日付けで北海道防衛局管理部長として着任しました麻山です。当局での勤務は、旧札幌防衛施設局を含め3度目10年ぶりとなります。

今日まで培われ、築き上げてきた当局と関係地方公共団体及び地域の皆様との信頼関係をより一層強固なものにすべく、私も、道産子の一人として、努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

函館市で防衛問題セミナー開催

テーマ：自衛隊の国外における活動

7月17日、北海道防衛局は函館市芸術ホールにおいて、「自衛隊の国外における活動」と題して防衛問題セミナーを開催しました。

道内で21回目の開催となった今回のセミナーは、湾岸戦争が起きた直後の平成3年に海上自衛隊の掃海部隊がペルシャ湾に派遣されて以来、昨年で20年目という節目を迎えたことから、防衛省・自衛隊が取り組んできた活動内容や体験談を紹介し、防衛省・自衛隊の活動等について御理解を深めていただくことを目的として開催しました。

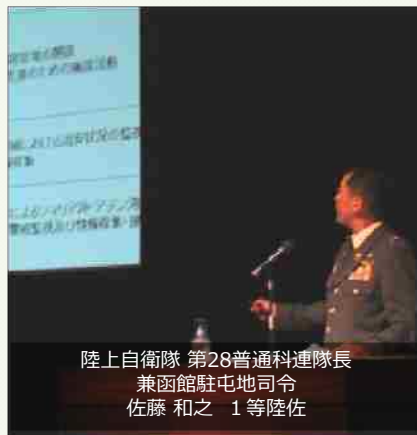
冒頭に、大東 隆 北海道防衛局長が挨拶した後、陸上自衛隊 第28普通科連隊長兼函館駐屯地司令 佐藤 和之 1等陸佐が、「陸上自衛隊の国外における活動」と題して、陸上自衛隊がこれまで行ってきた活動の概要や、国際平和協力活動の一環として、イスラエルとシリアの境界付近にあるゴラン高原に平成17年2月から約半年の間、第19次派遣輸送隊長として派遣された際の体験談や現地での活動の状況について講演しました。

次いで、海上自衛隊 函館基地隊司令 内山 哲也 1等海佐が、「海上自衛隊の国外における活動」と題して、海上自衛隊がこれまで行ってきた海外での活動の概要や国際緊急援助活動の一環として、スマトラ島沖地震直後のインドネシアに平成17年1月から約3か月の間、国際緊急援助部隊の幹部として派遣された際の体験談や現地での活動の状況について講演しました。

その後、参加者から寄せられた「海外活動において、各国軍隊と自衛隊との差を感じることはあるか」、「留守家族の安心感を得るために特に実行したことはあるか」、「インドネシア・スマトラ島沖地震で、多くの国が救援活動を行う中で、リーダーシップをとった国や機関はどこか」といった質問に対し、各講師から丁寧な回答が行われました。

当日は、140名の方々が来場され、熱心に耳を傾けていただき、セミナー終了時には、来場していただいた皆さまから自衛隊の活動に対し盛大な拍手を頂きました。

北海道防衛局では、防衛省の諸施策について、より多くの方々の御理解と御協力が得られるよう、今後も道内各地で防衛問題セミナーを開催する予定です。



陸上自衛隊 第28普通科連隊長
兼函館駐屯地司令
佐藤 和之 1等陸佐



海上自衛隊 函館基地隊司令
内山 哲也 1等海佐



北海道には自衛隊等が使用する演習場・飛行場など、数多くの防衛施設が所在しています。これらの防衛施設は自衛隊等の活動の基盤として、北海道はもとより我が国の平和を守る上で不可欠であり、そのため、周辺地域の皆様の理解と協力を得ながら円滑に使用していく必要があります。本誌では、防衛施設と周辺地域との調和を図るための様々な施策について、シリーズで御紹介しています。

■ 防衛施設周辺防音事業（一般防音）

自衛隊等の航空機の離陸、着陸等の実施、機甲車両その他重車両の頻繁な使用又は射撃、爆撃、その他火薬類の使用の頻繁な実施により生ずる音響で著しいものを防止し、又は軽減するため、地方公共団体等が学校、病院等の施設について必要な工事を行うときは、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律（環境整備法）第3条第2項に基づき、その費用の全部又は一部を補助することとしています。

必要な工事は、音響の強度及びひん度により防音工事の仕様は異なりますが、外窓を気密性の高い防音サッシに、また、内装を吸音性のある材料に取り替えるため、建物の気密性が増すことから防音機能を付加した空気調和設備（換気及び暖房）の設置等を行います。

また、防音工事により設置した防音サッシ、空気調和設備等については、設置から15年以上が経過し、機能が著しく低下した場合には、交換に係る費用も補助（機能復旧工事）しています。

対象となる防衛施設

事業内容等

千歳飛行場、旭川飛行場、丘珠飛行場、上富良野演習場、北海道大演習場（島松地区）、然別演習場、矢臼別演習場、静内対空射撃場

補助対象施設

小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・大学・高等専門学校・特別支援学校・幼稚園・専修学校・保育所・へき地保育所・福祉型障害児入所施設・福祉型児童発達支援センター・児童自立支援施設・身体障害者福祉センター・職業能力開発校・障害者支援施設及び障害福祉サービス事業（生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援を行う事業に限る。）を行う施設

病院（介護老人保健施設を含む。）・診療所（介護老人保健施設を含む。）・助産所・保健所・医療型障害児入所施設・医療型児童発達支援センター・救護施設・老人デイサービスセンター・特別養護老人ホーム・老人介護支援センター・母子健康センター

施工実施例



標茶小学校



（写真提供：標茶町教育委員会）

■ 防衛施設周辺民生安定施設整備事業（防音助成）

防衛施設の設置又は運用によりその周辺地域の住民の生活又は事業活動が阻害されると認められる場合において、地方公共団体が、自衛隊等の航空機の離陸、着陸等の実施、機甲車両その他重車両の頻繁な使用又は射撃、爆撃、その他火薬類の使用の頻繁な実施により生ずる音響で著しいものの緩和に資するため、下記に記載の公民館などの生活環境施設又は事業の経営の安定に寄与する施設の整備について必要な措置を採るときは、環境整備法第8条に基づき、その費用の一部を補助することとしています。

なお、防音工事の仕様及び機能復旧工事についても一般防音事業と同様に実施しております。

また、補助対象施設の一部については、老朽化や高齢化の進展などにより地域住民の需要に対応できていない場合に、バリアフリー化や施設の安全性の向上のため改修工事の助成も行っています。

事業内容等

対象となる防衛施設

千歳飛行場、旭川飛行場、丘珠飛行場、上富良野演習場、北海道大演習場（島松地区）、然別演習場、矢臼別演習場、静内対空射撃場

補助対象施設

児童養護施設・看護師養成所・准看護師養成所・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・老人福祉センター・学習等供用施設・公民館・図書館・博物館・保健相談センター・特別集会施設・児童館・自治会集会所・農民集会施設・市町村庁舎・消防庁舎・商工業研修等施設・農民研修施設・林業研修施設・漁民研修施設・コミュニティ供用施設

米軍再編に係る千歳基地への航空機訓練移転

米軍再編に係る千歳基地への航空機訓練移転（共同訓練）が、平成24年9月5日から7日までの3日間実施されました。この訓練は日米間の相互運用性の向上を図るとともに、嘉手納飛行場を始めとする三沢、岩国などの米軍飛行場における訓練活動に伴う地元の負担を軽減することを目的とするものです。

千歳基地においては、平成22年11月以来、約2年ぶり5回目の訓練となり、また、平成24年度の国内における米軍再編に係る訓練移転は初めてとなります。



米軍岩国飛行場から千歳基地に飛来したF A - 1 8 戦闘機

今回の航空機訓練移転はタイプ I 訓練で、岩国飛行場から飛来した米海兵隊第12海兵航空群のF A - 1 8 戦闘機4機と、航空自衛隊第2航空団（千歳基地）のF - 1 5 戦闘機が最大で8機参加し、北海道西方空域及び三沢東方空域を使用して、3日間で5回の戦闘機戦闘訓練等の共同訓練を実施しました。また、航空機訓練移転の実施に先立ち、関係者の理解を深めていただくため、9月5日には関係地方公共団体及び報道関係者等を対象に、米海兵隊飛行隊長のインタビュー及びブリーフィング、日本側から訓練移転について現地説明会を実施しました。

航空機訓練移転の実施に当たり、北海道防衛局では、9月4日に千歳基地内に現地連絡本部（本部長：古川企画部長）を開設し、訓練の円滑な実施のため、米軍に対する各種支援・調整、関係地方公共団体等への情報提供、地域の方々からの問い合わせ等の対応を行うとともに、周辺住民の安心・安全に配慮し、事件・事故に対し迅速に対処できる体制をとりました。

航空機訓練移転は事件・事故もなく9月7日に終了し、訓練終了時には日米の飛行隊長による会見が行われ、その後、F A - 1 8 戦闘機は岩国へ帰還しました。

平成24年度方面隊総合戦闘力演習

～現有編成装備の戦闘力を最大限発揮できる練度の維持～
～地域との連携～

国民保護訓練（礼文島）



職種協同訓練（衛生）
（野外病院の開設・運営）



北部方面隊（総監 岩田清文 陸将）は、平成24年8月27日（月）から9月12日（水）の間、道内各演習場及び各駐屯地のほか、部外地域を含む北海道全域に展開し、平成24年度総合戦闘力演習（後方地域）を実施しました。

本演習は、道内及び国内におけるあらゆる事態に対して、現有編成装備の戦闘力を最大限に発揮できる練度の向上を目的とし、後方地域の行動（国民保護、人事等）を主体に演練しました。

この間、4個方面総監直轄部隊の訓練検閲、北部地域自衛隊統合演習、方面隊職種協同訓練を実施するとともに、自治体が主催する防災訓練及び関係機関との共同訓練に参加して、練度の向上を図りました。

演習は、前段を方面隊が統制する訓練、後段を隷下部隊の師・旅団長等が計画する訓練に区分し、方面隊が統制する訓練においては方面隊の統制する枠組みで防御準備し、各師団・旅団長等の計画で演練するとともに、方面隊が統制する後方地域の活動について演練しました。

また、本演習においては、予備自衛官の招集訓練と連接させ、予備自衛官が実際に運用される場面を設定し、実際的な訓練を実施しました。

予備自衛官を運用した訓練
（人事施設の開設）



防御準備（陣地の構築）



地域と一体化で生まれる美幌駐屯地との深い絆（美幌町）

※ 美幌駐屯地創立61周年記念行事 ※



土谷 町長

陸上自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会 会 長（美幌町長） 土 谷 耕 治

陸上自衛隊美幌駐屯地は創立以来61年の永きにわたり、精鋭精強部隊として道東防衛の重責を担っており、旧海軍航空隊時代に遡りますと実に約70年以上もの間、地域とともに歴史を刻み続け今日に至っております。

昨年、美幌駐屯地は創立60周年の節目を迎えましたが、東日本大震災が発生し、当駐屯地から470名の隊員が現地に派遣され、過酷な状況の中、捜索・救出・生活支援・輸送支援などの任務に当たってこられました。震災の対応により創立記念行事は中止となりましたが、今年は、60+1（プラスワン）周年記念と称し、地域と一体となった創立記念行事を企画され隊員約300名、車両130両による40年ぶりの市中パレードや第5音楽隊の野外ミニコンサート、駐屯地曹友会の子供広場等が開催され、大成功のうちに終了いたしました。

市中パレードを見守る沿道の町民の皆さんは、美幌地方自衛隊協力会が作成準備した手旗1000本を手に手にパレードを迎えて頂きました。途切れのない観衆は3,500人にもおよび、大きな拍手と歓声、そして終了後は多くの住民から感動の声が寄せられ、駐屯地と地域が深い絆で結ばれていることをあらためて美感じ、自衛隊の存在を心強くそして誇りに感じたところであります。

美幌では、陸上自衛隊美幌駐屯部隊充実整備期成会を組織し、地域内の自衛隊諸協力団体と連携しながら、自衛隊及び駐屯地充実のための陳情活動や自衛隊イベント等に対する積極的な支援を行っているほか、オホーツク地域2市8町で構成する美幌地方自衛隊協力会とともに、美幌駐屯地の充実整備に向け、強力な支援体制を整え活動しています。

今後10年間の「防衛計画の大綱」では、戦車・火砲がそれぞれ200両・門削減するとされており、美幌駐屯部隊への影響も懸念しているところであります。

これまで、地域と共に歴史を積み重ねてきた駐屯地は、美幌町にとって、なくてはならない存在であり、引き続き美幌駐屯地の充実整備のために、地域・町挙げて最大限努めて参る所存であります。

私たち地域住民は、美幌駐屯地の益々の発展を願うとともに、日本の平和と独立を守り、地域の安心・安全のため、この地に在り、将来に亘って精強であり続けて頂きたいと切に願って止みません。



野外ミニコンサート



市中パレード

（写真：美幌町提供）

（表紙写真も市中パレードの様子です）

平成24年版防衛白書発行

防衛白書は、我が国防衛の基本について国民の理解を深めるため毎年発行しているもので、今回で38回目になります。

この1年において、民間船舶を使用した協同転地演習の実施などの動的防衛力の構築に向けた動きや次期戦闘機の整備、北朝鮮による「人工衛星」と称するミサイル発射への対応や日米の動的防衛協力の推進など、防衛省・自衛隊をめぐる多くの重要な事象を、図表・写真・コラムを活用し、できるだけ分かり易く紹介しています。

北海道防衛局は、陸・海・空3自衛隊及び自衛隊地方協力本部と連携し、道内地方公共団体（道、市町村等195団体）並びに関係団体の代表の方々などに対し、平成24年版防衛白書の紹介及び概要の説明を行っています。

これは、我が国の防衛政策や防衛省・自衛隊の各種施策について、地方公共団体等の方々を始め、より多くの国民の皆様にご理解を深めていただくとともに、防衛省・自衛隊と地方公共団体等との連携強化を図ることを目的として実施しているものです。

平成24年版防衛白書の内容については、防衛省のホームページに詳しく掲載されていますので御覧ください。



防衛省ホームページ <http://www.mod.go.jp/>

千歳基地航空祭

8月5日、航空自衛隊千歳基地で恒例の航空祭が開催されました。あいにくの空模様にもかかわらず約6万1千人が来場し、戦闘機の飛行や展示を楽しみました。



10月～11月 道内自衛隊の主なイベント

(9月20日現在)

開催日	開催場所	イベント名	お問い合わせ
10月 7日(日)	南恵庭駐屯地	南恵庭駐屯地 創立60周年記念行事	北部方面施設隊広報班 0123-32-3101
10月14日(日)	遠軽駐屯地	遠軽駐屯地 創立61周年記念行事	遠軽駐屯地広報班 0158-42-5275
10月20日(土)	ニトリ文化ホール	北部方面隊音楽まつり	北部方面総監部広報室 011-511-7116
10月28日(日)	函館駐屯地	函館駐屯地 創立62周年記念行事	函館駐屯地広報班 0138-51-9171
11月 3日(土)	恵庭市民会館	自衛隊記念日コンサート	北海道補給処広報班 0123-36-8611
11月18日(日)	コンサートホール kitara	第11音楽隊 第38回定期演奏会	第11旅団広報室 011-581-3191
11月21日(水)	伊達歴史の杜 カルチャーセンター	伊達ファミリーコンサート	第71戦車連隊広報班 0123-23-2101

注：行事予定は都合により延期又は中止される場合がありますので、各部隊等へ御確認願います。